

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8 年 4 月 2 4 日

団体所在地 廿日市市串戸 3-1-6
団体の名称 特定非営利活動法人キッズ NPO
職・氏名 園長 奥 勇輔
(施設名 にこにこキッズくしど保育園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

- ・トマト、枝豆、オクラの苗植え
- ・田植え、泥遊び
- ・モリアオガエル（卵やおたまじゃくし）の観察

【7月～9月】(夏季)

- ・夏野菜の収穫
- ・クッキング
- ・流しそうめん体験
- ・川遊び

【10月～12月】(秋季)

- ・稲刈り、もちつき
- ・クッキング
- ・トンボの観察
- ・赤カブ、ブロッコリー、人参、タマネギの種まき
- ・さつまいも、大根、カブ、ほうれん草、チンゲン菜、小松菜の収穫

【1月～3月】(冬季)

- ・雪遊び
- ・弥山登山
- ・クッキング
- ・大根、カブ、ほうれん草、チンゲン菜、小松菜、ブロッコリー、人参の収穫

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

田んぼで田植えや泥遊びを体験した。はじめは泥の感触に驚いていた子も、次第に慣れて田んぼの中を歩き合っている姿が見られていた。カエルがたくさん生息しており、交尾中のカエルも見られ、子どもたちは触らないよう注意しながらのぞき込むように観察していた。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

週に一度川遊びを行った。ボートに乗って流れを楽しんだり、川辺にできていた木苺を食べたりして楽しむ姿が見られた。小魚やカエル、トンボなども見つけることができ小魚を捕まえようと網をもって集中する子もいた。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

稲を刈ってから束ねて干すまでの一連の作業を体験することができた。束ねることは難しい様子であったが、束ねた稲を重そうにしながらも運ぶ姿が見られ、一束運ぶことに達成感を感じたような表情が見られていた。収穫したお米はハロウィン会でポン菓子にして食べることができた。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

二月に雪が積もったため、カッパを着て雪遊びを行った。友達と協力して大きな雪玉を作ったり、雪の上に寝転んで感触を楽しむ姿が見られていた。それぞれの楽しみ方で雪を感じて過ごすことができた。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

法人全体で自然保育実践研修に取り組み、系列園同士で意見交換をする。今後も取り組み内容を見直しながら継続して実践内容を共有しつつ、自然保育のスキルアップに繋げる。

- ・ 地域との関わりについて

専門知識のある地域の方に農園をお借りして野菜の栽培や調理を行う。（毎週）

地域の方に田んぼをお借りして、泥遊びやもち米の稲植え体験や収穫をさせていただき、できたお米で餅つきを行う。

- ・ 保護者との関わりについて

子供たちが育てた野菜を持ち帰って家庭でも味わっていただく。

連絡帳や SNS などを通じて活動内容を知ってもらう。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	https://instagram.com/niko_kushido
-------	---